

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

静岡県産材 ふじの国 木の家

グループの名称

ふじの国 快適な住まいづくりグループ

直近採択グループ番号

04-0218-0261

(グループ代表者)

代表者名

白井 琢磨

代表者印

代表者所属先

株式会社中村組

代表者所在地

静岡県富士市田中新田275番地の12

代表者電話番号

0545-33-0760

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社ノダ

事務局担当者名

大関 正俊

印

事務局郵便番号

111-8533

事務局所在地

東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

事務局電話番号

03-5687-6355

事務局FAX

03-5687-6306

事務局担当者E-mail

seiichi-takagi@noda-co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	静岡県産材 ふじの国 木の家
2. グループの名称(必須)	ふじの国 快適な住まいづくりグループ
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0218-0261
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県・神奈川県・長野県・東京都・三重県・埼玉県・愛知県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	白井 琢磨
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社中村組
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県富士市田中新田275番地の12
9. グループ代表者電話番号(必須)	0545-33-0760
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ノダ
11. グループ事務局担当者名(必須)	大関 正俊
12. グループ事務局郵便番号(必須)	111-8533
13. グループ事務局所在地(必須)	東京都台東区浅草橋5丁目13番6号
14. グループ事務局電話番号(必須)	03-5687-6355
15. グループ事務局FAX番号(必須)	03-5687-6306
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	seiichi-takagi@noda-co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	5	合法木材の一部は供給者の特定が不可能な為含まない。又海外の事業者は、念書が入手不可能な為含まない
II. 製材・集成材製造・合板製造	10	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	地域型住宅の特性に応じ、一部流通グループを介さず、地域材の調達を行う場合がある
IV. プレカット	2	
V. 設計	14	
VI. 施工	14	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	しずおか優良木材	静岡県	しずおか優良木材認証制度	1	国内
	静岡県産材	静岡県	静岡県産材証明制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		33	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	33	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	9	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		17	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	17	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		11	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	11	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	3	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸					
申請が未確定(上限100万円)		5	戸							
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		17	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	17	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	4	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		16	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	16	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	参加する工務店全社に最低1戸長期優良住宅を配分し、その上で長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅が未経験の施工事業者又は受注確実な施工業者に優先的に配分する									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. I～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡県産材 ふじの国 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・神奈川県・長野県・東京都・三重県・埼玉県・愛知県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふじの国 快適な住まいづくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0218-0261	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	躯体の耐震性能を重視する 長寿命型は耐震等級3を確保する 躯体の断熱性能を重視する UA値(W/m ² ・K)を各地域で次の値以下とする 3地域→0.54、4・5・6地域→0.60	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域ごとの木造軸組を継承しつつも、仕口の断面欠損が少なく接合部強度が強い金物工法とする	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏期の日射遮蔽対策及び風雨による劣化対策として、日本の伝統家屋にみられるような深い軒の出(600mm以上)を確保する 周辺環境を考慮した植栽を行い地表温度の低下を図りつつ、地域景観に配慮した家づくりを目指す 中間期における内部の通風を考えLDKに掃出し窓を配置する等、自然外気が取り入れやすいデザインを目指す 冬期において日射量の多い地域は開口部から日射を積極的に取り入れ、日射量の少ない地域・寒冷地域は開口部の断熱性能を高める	○
④①～③の背景	全国各地で経験のない自然災害、特に大地震・豪雨による被害が頻繁に起きている 又、世界規模で増加し続けるエネルギー消費量とCO2排出量を抑制するために 高性能かつ自然の力を活用した省エネルギー住宅が求められている よって上記①～③の対策、取組みを行う	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	全棟でBELS評価を行い省エネ性能を「見える化」する 地盤調査を実施する 又、必要に応じて液状化調査を実施する	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	構造材、羽柄材の部材断面寸法が規格化・マニュアル化されている	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 検討委員会を設置し標準仕様の策定・見直し、事業者の地域材の使用量の把握を行う	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内にサポートセンターを設置する BELS取得、長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅の申請サポート業務を行う	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準設計・施工マニュアルが作成されている	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 社内検査の実施及び施工状況の記録を行う (全4回:基礎工事、躯体工事、内部下地組、完成時)	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: モデルプランによって長寿命型住宅、高度省エネルギー型住宅とした場合の イニシャルコスト、ランニングコストの試算、比較を行う	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造物見学会や完成見学会を開催する 又、完成物件の写真をホームページ上に掲載する等の取り組みを行い グループの認知度を高める	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡県産材 ふじの国 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・神奈川県・長野県・東京都・三重県・埼玉県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふじの国 快適な住まいづくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0218-0261	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者と事務局又は情報サービス機関で住宅履歴情報を蓄積する	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス機関を活用し住宅履歴情報の蓄積に努める	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者から住宅履歴情報の預かり書の写しを事務局でも保管する	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の維持管理計画書に従い点検を行う	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地震・台風等の災害時には点検の時期に関わらず臨時点検を行い必要に応じて補修を行う	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者から点検補修記録シートの写しをもらい事務局でも保管する	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者が住まい手に向けて維持管理方法についての勉強会を実施する	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者が住まい手に向けてクロス、フローリングの張替え等の体験会を実施する	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工事業者が住まい手に向けてリフォーム相談会等を実施する	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、維持管理の方法・基準を検討しグループで内容を共有する	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局又は情報サービス機関で保存している住宅履歴情報を活用する	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり施工事業者、設計事業者を集めて勉強会を実施する	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
長期にわたる定期的なメンテナンスを行うため、時代の変化に対応した適切なメンテナンスの検討や見直しを適時行う		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計事業者、施工事業者向けの長期優良住宅と省エネ技術についての勉強会を実施する	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準設計・施工マニュアルを活用する	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ全体の供給物件の予測をし、次年度の目標を策定する	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国の住宅施策ロードマップを基にグループとして中長期的な省エネ目標を策定する	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会にてグループ構成員間で設計・施工時の注意点や改善方法を共有し技術力向上、合理化につなげる	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 5	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 10	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講の施工事業者に向けて講習会開催の案内を送付し参加を促す	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HEMSを導入しエネルギーの見える化を行い、住まい手の省エネ意識を高める	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロ・エネルギー住宅に対応するため、従来より気密性能を向上させた壁パネルを開発する	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
今後、技術革新により新しい省エネルギー設備・手法・材料等が開発された場合は随時、勉強会等の機会にそれらの情報をグループ内で共有する 又、新技術開発のヒントを得る為、展示会や、現場見学会等に積極的に参加する		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡県産材 ふじの国 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・神奈川県・長野県・東京都・三重県・埼玉県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふじの国 快適な住まいづくりグループ	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0218-0261	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の品質・寸法・強度・含水率等、性能が明確に判断できるものを使用する 地域材の供給が安定的に行え、森林の維持管理の観点から利用を促進すべき材料を使用する
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【使用する地域材】 合法木材(国内・国外) しずおか優良木材 静岡県産材 間柱:宮城県石巻市で生産</p> <p>東日本大震災の復興支援</p> <p>【地域材と納品書・出荷材証明書等の流れ】 I 原木供給 → II 製材・集成材・合板製造 → III 建材流通(木材) → IV プレカット → V 設計 → VI 施工</p> <p>地域材を使用し全棟でBELS住宅を取得する</p> <p>原木の一部においては国有林の競争入札より原木調達を行う予定があるこの際、原木の出荷証明の取得は無い。合法木材の一部においては産地・出荷が多岐に渡り原木供給者の特定が困難な場合がある又、海外事業者にあつては必要とされる念書の入手が不可能であったため登録を行っていない。よって、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者の合法性の証明によって代替する</p>
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で物件情報、工期、地域材の樹種・使用㎡数をまとめ、グループ構成員に対してメールで情報配信し、情報の共有化を図る
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で市況をまとめ、グループ構成員に対してメールで情報配信し、情報の共有化を図る
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 1棟当たり10㎡程度の使用が見込まれるため630㎡程度の需要が見込まれる
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 500枚
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度瓦を用いる予定の屋根面積:940坪 積雪等による屋根荷重の影響が大きい住宅では瓦以外も可とする
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 189枚
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 189枚
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: リビングに畳スペースを設ける等、日本の伝統的な建材のひとつである畳を住宅に取り入れることを目指す
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 住宅履歴情報を保管し適切維持管理を行い続けることで次世代に引継ぐことが可能な長持ちする家づくりを目指す
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 植栽を活用し、地域の景観に溶け込むことを目指す 建設地の都道府県が定めた「都道府県の木・花」を植栽に積極的に採用する
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本の伝統家屋に見られるような室外の風を室内に取り入れられるよう通風に配慮した設計を目指す
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	間伐材、小径木、合板や製材の残材等を再利用した地球環境にやさしい素材であるMDFを外壁下地材に使用する
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	東日本大震災の被災地である宮城県石巻市で生産された間柱を使用する
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡県産材 ふじの国 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県・神奈川県・長野県・東京都・三重県・埼玉県・愛知県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふじの国 快適な住まいづくりグループ	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0218-0261	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型

認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅はBELS★★★★以上を取得する
 ゼロエネルギー住宅はBELS★★★★を取得する
 ゼロエネルギー住宅は長期優良住宅を同時に取得し世代を超えて住み続けられる高性能な住宅とする

LED照明を全室に採用することを目指す
 水廻りにおいて節湯水栓を積極的に採用する
 通風に配慮した設計や軒の出による夏季の日射遮蔽など設備機器だけに頼らない省エネ対策を行う
 ゼロエネルギー住宅については太陽光発電だけに頼らない、断熱性能、気密性能の高い住宅をめざす